

NEW!

青森県三戸郡田子町(田子地区)

歩道を併せて整備することにより、
歩行者の通行に配慮したスムーズ横断歩道を設置



高齢化が進む中、多くの地域関係者が
一体となって合意形成



広域図



整備計画等 策定状況	ゾーン 30 プラス
対策の内容	<ul style="list-style-type: none">➤ ゾーン 30 に指定➤ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道) 1箇所 他
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none">➤ スムーズ横断歩道を設置した箇所は、階段を上って学校に向かう経路上で、元々歩道及び横断歩道がなく、危険な箇所であった➤ 通学時間帯は、なるべく車両で通らないように保護者間で共有されていた

背景の地図の出典：国土地理院

NEW!

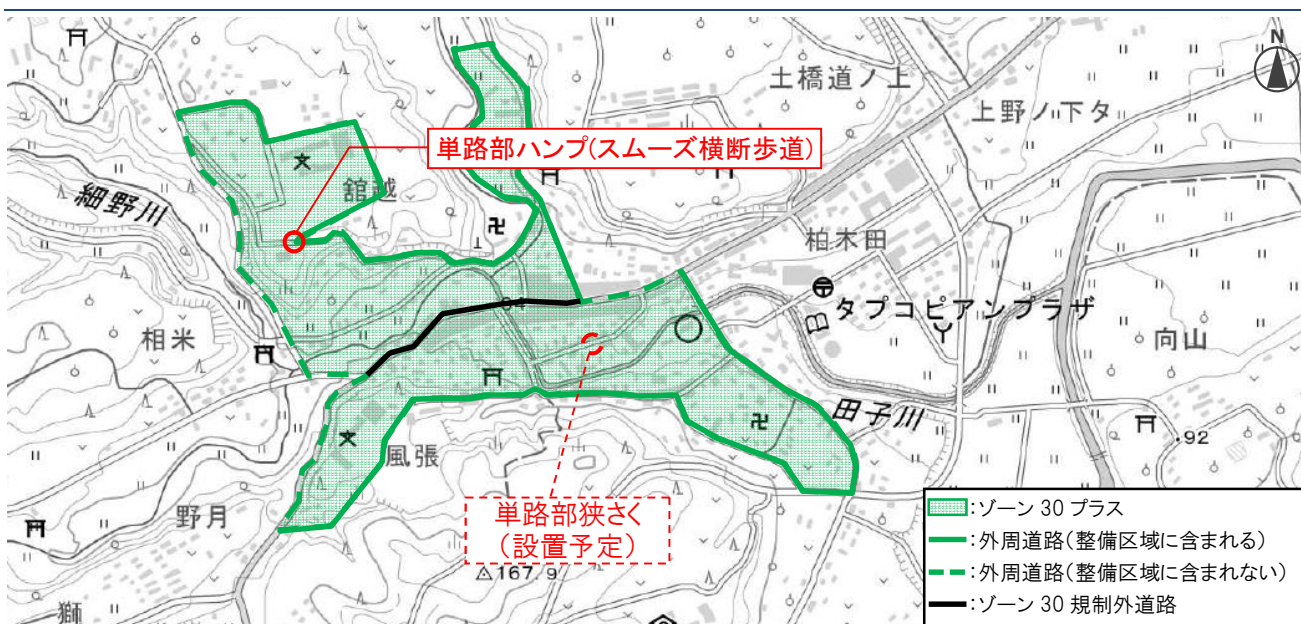
青森県三戸郡田子町(田子地区)

設置の特徴

歩道を併せて整備することにより、
歩行者の通行に配慮したスムーズ横断歩道を設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



設置内容

	内容	備考
設置箇所数	1箇所	
設置時期	2022年11月	
ハンプの形状	【単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)】 ・平坦部の長さ 3m ・ハンプの高さ 10cm ・傾斜部の勾配 平均 7.5%	
構造及び 付属施設	・アスファルト製ハンプ ・傾斜部のカラー化 ・ゴム製ポール ・路面表示 ・警戒標識 ・歩道 ・スノーポール	・傾斜部：ベンガラ ・歩道：緑(ハンプ設置に併せて整備)
技術的な工夫	◆歩道を併せて整備することにより、 歩行者の通行に配慮 ◆ハンプの形状に沿った路盤を施工し、表層のアスファルト舗装厚は同路線の5cmで統一した(舗装は、同路線と同様の構成) ◆平坦部の長さは横断歩道幅に準拠して3mとした	

NEW!

青森県三戸郡田子町(田子地区)

設置状況



概観



概観



標識



ゴム製ポール(車両の動線整備)



スノーポール



「止まれ」表示

NEW!

青森県三戸郡田子町(田子地区)

合意形成
のポイント

高齢化が進む中、 多くの地域関係者が一体となって合意形成

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)

合意形成の概要

田子町地域安全推進協議会(2005.3)



緊急合同現地地点検・対策(2012)



ゾーン 30 プラス整備計画策定(2021.11)



本設置(2022.11)

・単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所



協議会は毎年開かれており、職員による交通安全指導や、協議会委員による登校時の見守り活動の実施によって、地域の交通安全に対する意識が向上し、10年以上交通死亡事故がゼロであった



2021.10 青森県警察 交通規制課によるゾーン 30 プラスの推進についての働きかけ



2021.11 田子町地域安全推進協議会・意見交換会

- ・自治会への説明
- ・ゾーン30プラスの取組内容
- ・住民の交通安全意識の高さや各学校施設が近接し効果が期待される点などから、ゾーン30プラスの取組を検討



事前に関係する自治会長に個別訪問し整備計画の内容や経緯を説明
その後、自治会長から地区会長を通して住民へ説明していただき、合意形成を図った




2022.11 田子小学校へ交通安全指導



マスコミにも取り上げられ、新聞やテレビにも掲載されることによって、住民の交通安全対策への意気込みも継続

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
<p>現況調査 計画策定 〈Plan〉</p>	<p>❖ <u>田子町地域安全推進協議会・意見交換会</u></p> <p>実施日 2021年11月30日</p> <p>参加者 三戸地区交通安全協会、三戸地区交通安全協会田子支部、三戸地区交通指導隊田子支隊、田子町交通安全母の会連合会、田子町、三戸警察署</p> <p>内容 自治会への説明 ゾーン30プラスの取組内容 町民の交通安全意識の高さや各学校施設が近接し効果が期待される点などから、ゾーン 30 プラスの取組みを検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止等のために構成する既存の協議会を活用することで、迅速に合意形成を図ることができた
<p>↓</p> <p>対策実施 〈Do〉</p>	<p>❖ <u>本設置</u></p> <p>運用開始 2022年11月</p> <p>ハンプの除雪は学校関係者と連携して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 除雪時にハンプへの影響を回避するため、少し雪を残した状態とした 日当たりの良い箇所に設置することで、残った雪は融雪された 除雪によって道路端に集められた雪を学校関係者が処分している 	<ul style="list-style-type: none"> 除雪作業において、現状大きな支障は出ておらず、一冬を越えて損傷や劣化等も生じていない 適時適切な広報によるマスコミ報道等を通じた効果的な情報発信
<p>↓</p> <p>評価 〈Check〉</p>	<p>❖ <u>アンケート調査(予定)</u></p> <p>今後、住民や通学児童へのアンケート調査を検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住民の意見や事故発生状況等を踏まえ、引き続き、道路管理者と警察が緊密に連携し、PDCA サイクルに基づくゾーン 30 プラスの改善策の検討や充実を図っていく
<p>↓</p> <p>対策改善 〈Action〉</p>		

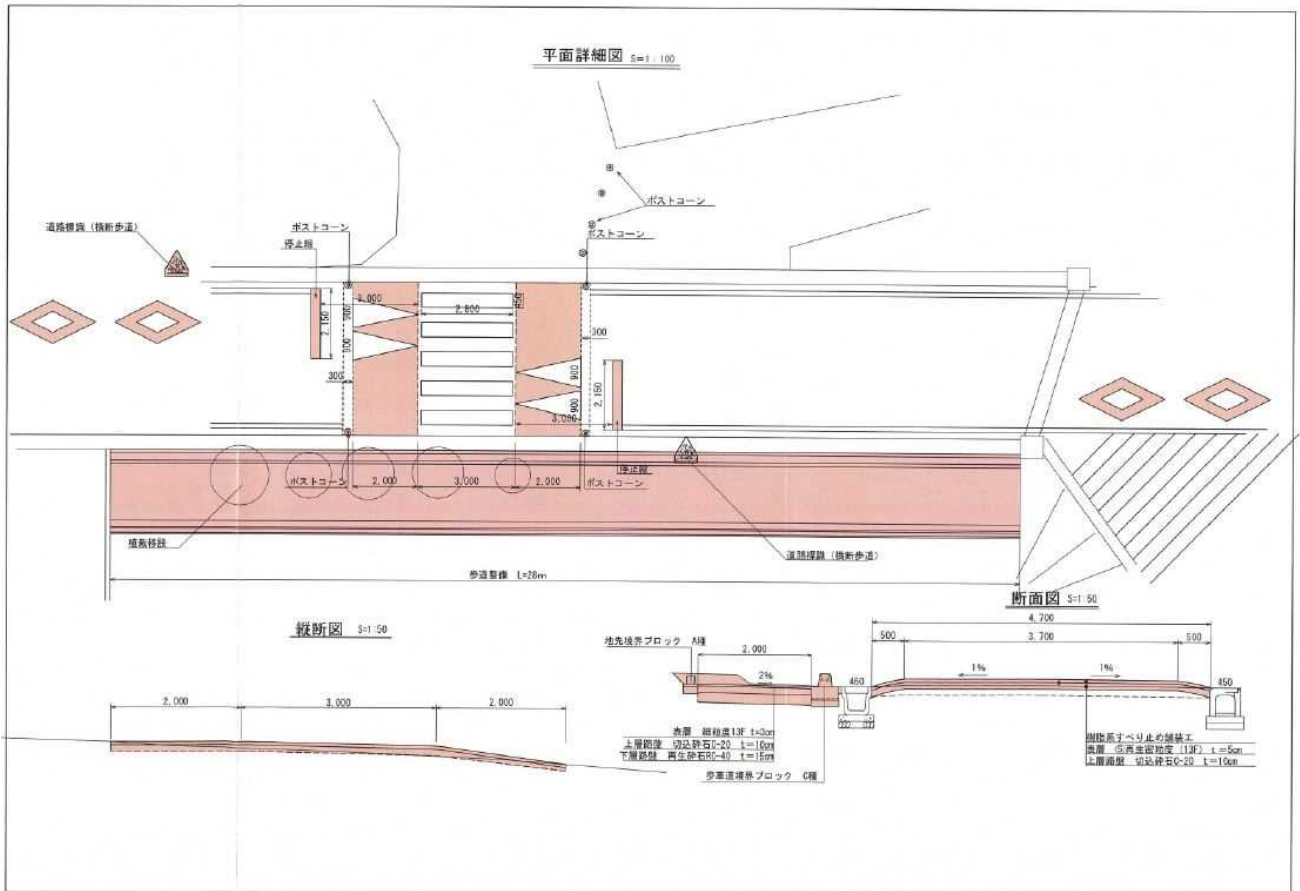
合意形成における道路管理者からみた特筆事項

円滑な検討に結びついた点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交通規制の専門知識を有する青森県警察交通規制課が、所轄警察署や道路管理者に、ゾーン 30 プラスの推進について働きかけを行ったことで、関係者の理解が深まり、早期整備につながった。 ◆ ゾーン 30 プラスの整備を行うにあたって、取り締まることが目的ではなく安心安全のまちづくりの一環として取組みを進めていくことを丁寧に説明したことで、理解を得られた。 ◆ 整備計画について自治会長へ個別に説明を行い、各自治会において自治会長から地区会長を通して住民へ説明をしていただいたことでスムーズに合意形成が図れた。
考えられる今後の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今回の整備計画については、警察と町が決めた案を住民に説明して納得いただいたが、ワークショップなどを開催できれば住民の意見を計画に織り交ぜることができるので、今後他地区への拡大が計画された際にはワークショップなども取り入れていきたい。

NEW!

その他参考資料

❖ 単路部ハンプ設計図



❖ 歩道整備の対策前後



出典: 地域関係者の協働による「ゾーン 30 プラス」の取組について(青森県田子町)